

弦楽器の音色を体験しよう！

児童の皆さんからの質問におこたえます



Q1 好きな曲は何ですか？

好きな曲はたくさんあって決めるのが難しいですが、モーツァルトの作品は好きな曲が多いです。シンプルだけど少しはかなさを感じるメロディと、たまに出てくる子供のいたずらのようにお茶目なメロディがとても好きです。

奥村 愛

映画「インディ・ジョーンズ」のテーマ、森山直太郎「さくら」、パッハ「組曲ホ長調BWV1006」などが好きです。

岡本拓也

Q2 ヴァイオリンを弾くときに頭や首を動かすのはなぜですか？

演奏中に音程や音色を調整するため、無意識に頭を動かし、バランスを取ることがあります。また頭の動きは音楽のリズムやフレーズに合わせた「ノリ」や「表現」の一部としてあらわれるので、指揮者のように身体全体で音楽を感じている証とも言えます。

奥村 愛

Q3 これまでヴァイオリンやギターを弾いていて、一番楽しいと思ったことは何ですか？

今回のコンサートのようにいろいろな方たちと、いろいろな楽器で共演できること。「あなたがそう弾くなら、私はこう弾こうかな」と、それぞれの楽器で会話をしているような時間がとても楽しいです。

奥村 愛

お客さんと一緒に同じ瞬間を楽しんでいることを実感したステージ。YouTubeでもテレビでもCDでもなく、会場に来た人だけが味わえるライブ感を自分で作り出した瞬間です。私だけではなく、共演者、ホールのスタッフなど、全員で作上げた瞬間でした。

岡本拓也

Q4 音楽をやっている、一番つらかったことは何ですか？

今はそんな事はありませんが、小学校や中学校時代はお友達との遊びの誘いを断って練習をしなければいけなかったのも、とても辛かったです。

奥村 愛

出したい音色がどうしても出なかった時です。言葉と同じで、たくさん本を読んで勉強してその言葉を自分で生活の中で使うことで語学は上達します。

同じように音楽でも、出したい音色を適材適所で出すためにはたくさん練習して、たくさん失敗して、その繰り返しで出したい音色を自由に出せるようになりました。辛い時期を乗り越えるためには、たくさん失敗することが大切でした。

岡本拓也

Q5 ヴァイオリンやギターの発表会（大会）は、どのようなところでやっていますか？

大会（コンクール）は世界各地で行われています。その中でも規模が大きくて権威のある大会は限られています。ギターだと、スペイン、フランス、ドイツ、イタリア、日本などで大きなコンクールが行われています。大体は響きの良い音楽専用のホールで行われます。

岡本拓也

Q6 ヴァイオリンはなぜ擦ると音が鳴るのですか？またギターはなぜ真ん中に穴が開いているのですか？

ヴァイオリンの場合は弦を弓で擦ることによって、弓の毛の目に見えないギザギザが弦に引っかかって、その摩擦と振動で音が出ます。またギターの穴は「サウンドホール」と呼ばれ、弦の振動にボディが共鳴し、この共鳴音がサウンドホールを通じて外に出ます。穴が中央にあるのは音のバランスが取れやすいことや振動が効率よく伝わるからです。

岡本拓也

Q7 ヴァイオリンは長く使うと、使えなくなってしまうことがありますか？

ヴァイオリン自体は丁寧に扱えば何十年、更には何百年も使用できます。ストラディバリウスのような名器は300年以上も現役で使用されています。ヴァイオリンの寿命を長くするためには、保管環境や定期的な調整がとても大切です。

奥村 愛

Q8 子どもの頃は一日に何時間くらい練習をしていましたか？またヴァイオリンやギターを始めたきっかけは何ですか？

小学5年生くらいの時に学校がお休みの日は5時間練習するようになりました。一番練習したのは中学3年生の時。8～10時間練習していました。ヴァイオリンを始めたのは4歳の時ですが、正直あまり記憶がありません。母が子供にヴァイオリンを習わせたいと思っていたみたいです。

奥村 愛

10歳の時に家にあったギターで遊び始めたのがきっかけです。誰も弾いていない古いギターでした。小さい時はギターが楽しくて可能な限りずっと弾いていました。学校、ご飯、寝る、友達と遊ぶ時以外はずっとギターでした。

岡本拓也

Q9 何曲も連続で弾いていると、指が痛くなりませんか？またヴァイオリンでは顎が痛くなりませんか？

指も顎も痛くなる事はありません。長い年月ヴァイオリンを弾いているので左手の指先（ヴァイオリンの弦を押さえているところ）は皮が厚くなっています。顎は実は乗せてるだけなので、そんなに力はいっていません。

奥村 愛

Q10 ヴァイオリンの音の高さは、弓の位置や押さえている指の位置などで変わりますか？

音の高さは弦を押さえる左手の指の位置で決まります。右手は弓の圧やスピードを変えることによって、音の強弱や長さ、音色を変えることができます。

奥村 愛

Q11 ヴァイオリンやギターを簡単に弾けるようになるにはどうしたらいいですか？

まずは好きな曲や弾きたい曲を具体的に決めましょう。その曲が弾けるようになるまではとことん楽器を触りましょう。弾けるようになる楽しみがあれば途中で諦めることもないはずです。そしてそれ以前に必要なのは「良い先生」です。丁寧に指導してくれる教室や先生を探しましょう。

岡本拓也

Q12 ヴァイオリンを弓で弾くときにどれくらいの強さで弾いていますか？

基本的には力はいりません。弓の重みや手の重みを使います。習字や絵の具の筆の毛先が曲がるくらいの力を想像してみるといいかもしれません。

奥村 愛

Q13 奥村さんは立ち、岡本さんは座って弾いていたのはなぜですか？

ヴァイオリンとギターは、ともに立って弾くことも座って弾くこともあります。例えばヴァイオリンだとオーケストラの団員は皆座って弾いていますし、ロックバンドなどのギタリストは立って弾く場合が多いです。今回は二人での編成や選曲が理由でこのスタイルで演奏しました。

岡本拓也

Q14 ヴァイオリンの弓の糸はなぜ馬の毛なのですか？

馬の毛がヴァイオリンの弓にとって最適な素材だからです。馬のしっぽの毛は長さが十分にあり、丈夫で耐久性があります。また馬の毛には微細なギザギザがあり、弦をしっかりと引掛けて振動させるのに役立っています。更に松脂（まつやに）を塗ることによって、摩擦が高まり弓が弦を滑らかに擦れるようにしています。

奥村 愛

Q15 ギターの上の部分にある回す金色のネジのようなものは何に使うのですか？

金色のネジは「ペグ」と呼ばれていて、弦の張り具合を調整するために使います。このペグを回すことで弦の張りの強さ（テンション）が変わり、音の高さ（ピッチ）を調整し、しっかりと調弦することで美しい音を奏でることができます。

岡本拓也

Q16 奥村さんと岡本さんはヴァイオリンやギターのほかに、どのような楽器が演奏できますか？

高校受験の時にピアノの試験を受けなければいけなかったのも、ピアノは少しだけ弾けます。あとコロナの時にウクレレを練習していましたが中々弾けるようにはなりませんでした。

奥村 愛

ウクレレが弾けます。

岡本拓也

Q17 どうしたらそんなに美しい音色を出せるのですか？

ギターでは爪の断面をピカピカに磨いて弦と爪の接点の摩擦を減らすことできれいな音が出ます。でも「きれいな音」は人によって考え方が違います。皆さんも絵を描く時に「きれいな色」が人によって違ったふうに想像されるように、音も人によって違います。大事なのは自分が「きれい」と思う音がどんな音なのかを具体的にイメージすることです。

岡本拓也

Q18 ヴァイオリンやギターをやめたいと思ったことはありますか？

子供のころは練習が嫌でやめたいと思っていましたが、多分それはヴァイオリンをやめたいわけではなく、練習をやめたいだけだった気がします。ヴァイオリンを本気でやめたいと思ったことはありません。

奥村 愛

Q19 お二人は一日にどのくらい練習していますか？

日によって長い時も短い時もありますが、コンサートがある時は3～4時間くらい弾いています。

奥村 愛

できる限り！少なくとも5～6時間は弾いています。

岡本拓也

Q20 ヴァイオリンとギターで、弾き方が違うのはなぜですか？

楽器の構造と音を出す仕組みが異なるからです。ヴァイオリンは弓で弦を擦って音を出す「擦弦楽器」ですが、ギターは指やピックで弦を弾く「撥弦楽器」です。（ヴァイオリンは弦を滑らかに擦って伸びる音を作るのに適しています。ギターは直接弾いて和音やリズムのアクセント表現に適しています。）

岡本拓也